

社会保障審議会医療部会（平成19年3月9日）における主な意見

1 後期高齢者の心身の特性

- 後期高齢者医療で一番問題になるのは認知症の問題。多くの人たちが何らかの認知症の症状を持っている中で、患者自身の正しい理解と治療法の選択、自己決定ということを簡単に書いていいか検討が必要。
- 後期高齢者の心身の特性等を体系立て、きちんとした治療の根拠を作っていくことが大事。また、効果的・効率的な医療提供という視点が極めて重要。

2 基本的な視点

- 在宅を進めていく時に、独居老人がどれだけいるかを把握しておくことが必要。地域の中で健やかな老いを迎え、それをサポートする医療ということが必要で、医療、介護を整備していくと同時に、地域住民の方々が一緒に支えていく体制を医療・介護関係者と作っていくという視点も必要。

3 後期高齢者医療における課題

- 後期高齢者については、福祉面でカバーできることも多く、医療、福祉の両面から検討することが必要。
後期高齢者医療において、医療費を削減しようとするのであれば、こうすればこうなるという形で具体的な数字で議論していくことが必要。

4 後期高齢者にふさわしい医療の体系

- 後期高齢者医療は介護と不可分であり、それを扱う医師の資質はどうあるべきかが問題。いろいろなベースを持った専門的な知識、幅の広い技術を持った人であることが必要であり、この特性に合った医師の養成、評価が必要。関係学会と調整を図りながら、なるべく統一した形での養成をすべき。
- 在宅重視の医療で複数疾患を抱える後期高齢者を総合的に診る医師を育てていくことが必要。
- 老人は入院が長期化するとADLが低下し、在宅に戻すことは難しいという話になるため、地域でどう受け止めるかということになる。介護保険との一元化と記載があるが、医療と介護で公費負担の一元化された考え方ができるのかどうか。
- 現在の議論については、医療費抑制が全面に出過ぎており、格差への配慮が欠落、後期高齢者の心身の特性への配慮が不足、高齢者の独居や老老世代の激増を考慮していない、認知症を持つ高齢者の自己決定は困難という認識が少ない、終末期医療の選択肢が限定的といった問題点を指摘する。

終末期医療の基本理念として、本人・家族の意思の尊重、医療提供者の倫理に基づく最善の医療を逸脱しないこと、多様な看取りの形を提供することが重要。

CGA、GEMsについては、中身を十分に評価し、運用の可能性を検証すべき。

- 後期高齢者や終末期医療を在宅にシフトしていくと医療費増になるという覚悟が必要。また、何かあれば訴えられる危険もあり、そういう危険を負担してまで開業医が在宅を頑張ろうという覚悟があるのか心配。
- 後期高齢者医療制度に対する歯科医療の重要性を認識してほしい。後期高齢者への継続的な口腔管理、かかりつけ歯科医の機能を支援するような診療報酬上の評価、節目での検診での口腔診断の制度化が重要。
- 後期高齢者医療は介護サービスと不可分。高齢者がどこで暮らすのかが非常に重要で、自宅以外の居住の場をどうイメージできるか、医療に限らず、介護、住宅に対しての構想も必要。
在宅医療を望む方に提供できる体制づくりが重要であり、安心・納得できる訪問看護も重視すべき。また、ケアと死の診断に関し、ガイドラインを作成すべき。過剰な医療の見直しが行われる必要。
- 必要な薬がきちんと飲まなければならない。薬の自己管理ができないケースや理解しにくい部分には薬剤師・薬局が十分関わる必要。必要な薬なり医療そのものが、過不足なく患者の手元に届くような制度設計をすることが必要。
- 後期高齢者の生活を支える視点と、終末期医療にシームレスにつながる体系を構築することが重要。かかりつけ医のあり方としては、それにふさわしい総合診療医の育成システムを早期に確立すべき。また、過度に専門特化した医師養成システム、標榜科目の妥当性、フリーアクセスのあり方など、かかりつけ医を登録医のような制度として機能させるためには、先行して解決すべき問題が山積。
- 後期高齢者医療においては、有床診療所の果たす役割に配慮してほしい。

5 その他

- あまりにも現役世代に負担が重くかかってしまうようではいけない。
- 後期高齢者医療を支える前段階として、医療資源の整備、医療体制の確保が非常に重要。医師不足を解消しないと誰が診るのかということになる。
- 緊急でどこが足りないという話と、対応策として時間がかかる話と比較的短時間で対応できる話がある。優先度や課題の長短による整理が必要ではないか。
- たたき台についてはうまくまとめられているが、後期高齢者医療に対する理念レベルの課題と、医療提供体制に対する具体的な課題という違った次元の課題が

並んでいる。両課題とそれに対する答えという構成になればなおよい。

- 同じ医療という言葉で、医療そのもの（診療）と医療提供体制とを表現しているが、整理して書いた方がよい。